

古事記傳^{十二}に、久比古は久延昆古の誤にはあらざるか、宗祇回國雜記と云物に、能登國に至り侍て云々、くゑのやつと云所にてよめる、心からうきすまひにもなれぬらむやちた^延何をくゑの里人、とあるを見れば、いよく久比は久延の誤かとおぼゆ、たとひ氏にても延と同韻なりと云へり、^延連流 按るに、いかにも久比は久延の誤りなるべし、既に在所を今も江村といひ、國內大穴持宿奈彦等像石神社も坐せば、由縁ありげに思はれたり、能登生國玉比古神社

能登は郡名に同じ、生國玉は伊久久爾多麻と訓べし、^{今能登生と生字か上につけて、ノ、トナリとよむは然るべからず、}比古は假字也、○祭神生國神、足國神歟、^{神社帳云、素戔鳴尊、天}○所口村に在す、氣多本宮と稱す、^{神社例祭}類社。

攝津國東生郡難波坐生國魂神社の條見合すべし

白比古神社

白は志良と訓べし、比古は假字也、○祭神明か也○白濱村に在す、^{神社}例祭

雜事

朝野群載云、康和五年六月十日、卜部宿禰兼良、奏龜卜御體御卜云々、能登國白比古神云々、伊須流支比古は假字也○祭神明か也、^{社帳云、大宮伊須流御殿伊須册、日宮大}○石動山に在す、^{神社}例祭

祭月日、

雜事

朝野群載云、永曆四年六月十日、卜部宿禰兼宗、奏龜卜御體御卜云々、能登國伊須流支比古神云々、

餘喜比古神社

餘喜比古は假字也、和名鈔、^{部名}與木、^與岐○祭神明か也○能登上村 在す、^{神社}例祭

阿良加志比古神社

阿良加志比古は假字也○祭神明か也○大吞六合之内山崎村に在す、^{神社}例祭 月日、○當國羽咋郡久麻加夫都阿良加志比古神社もあり

久志伊奈太伎比咩神社

久志伊奈太伎比咩は假字也○祭神明か也○在所詳ならず

伊夜比咩神社

伊夜比咩は假字也○祭神明か也○向田村に在す、今神明と稱す、^{神社}例祭

御門主比古神社

御門は美加登と訓べし、比古は假字也、○祭神明か也、^{神社帳云、豐石窓}○在所分明ならず、^{神社帳}町村六所明神、また船浦村阿闍

明神といふ號れ正しき歟

宿那彦神像石神社

宿那彦は須久奈比古と訓べし、像石は前に同じ、○祭神明か也○金丸村に在す、^{神社}例祭